

新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて、国・社会から様々な提言が行われるなど大学に改革行動が求められています。改革の中心的役割を担う先生方は未知の時代を切り拓く人材教育をどのように受け止め、対応すべきとお考えでしょうか。教育現場での問題認識、能動的な学びを実現する授業改善の取り組み、教育の質的転換を図るための教学マネジメントの対策、教員の教育力向上の課題、情報通信技術（ICT）を活用した授業改善への取り組みと課題などについて披瀝いただき、本協会として大学及び文部科学省、関係機関に施策への反映を呼びかけることにしています。

- ☆ 回答は、このマークシート、または本協会のWebサイト(<http://www.juce.jp/que2013/>)の何れかの方法で記入願います。マークシートの回答は、**平成26年1月17日(金)**までに貴学のご担当者に提出下さい。Webサイトからの回答は、**平成26年1月24日(金)**までに送信下さい。
- ☆ 回答いただいた情報の取り扱い、本協会の事業（文部科学省への施策提言、貴学の教育改善支援、分野別教育改善の研究、FD関連事業、教材相互利用事業の案内など）に限定しており、目的以外の使用はいたしませんので積極的にご協力願います。

## 本調査では、先生が担当されている授業科目の中で、主要な1科目を対象に回答願います。

- ※ 例えば、受講学生の多い科目など、先生が主要科目とお考えの科目についてお答え下さい。
- ※ 対象とする科目は、講義あるいは実験・実習・演習とし、**ゼミを除きます。**
- ※ 本調査での学修とは、授業及び授業のための事前の準備、事後の展開などの学びを指します。

|                                                                                             |                                            |                                  |                                                                   |                |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------|
|  <b>HB</b> | <b>鉛筆で回答して下さい。</b><br>シートを折ったり汚したりしないで下さい。 | <b>【マーク記入欄】</b><br>枠内を塗りつぶして下さい。 | [可] [不可] [不可]                                                     | <b>【自由記述欄】</b> |
|                                                                                             |                                            |                                  | <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> | 枠内にきちんと書いて下さい。 |

### 1. 主要な1科目について記述または該当する番号を塗りつぶして下さい。

- (1) 科目名〔  〕 (2) 科目の学系コード   ← **裏面の学系コード表から選択して下さい**
- (3) 授業科目のキーワード 1.〔  〕 2.〔  〕
- (4) 所属大学 ① 大学学部(昼間部のみ) ② 短期大学(本科のみ) (5) 受講学生数〔    〕人
- (6) 対象年次 ① 主に1年次 ② 主に2年次 ③ 主に3年次 ④ 主に4年次 ⑤ 主に5年次 ⑥ 主に6年次(5・6年次は 医・歯・薬系を対象)
- (7) 授業形態 ① 講義 ② 実験 ③ 実習 ④ 演習 ⑤ その他(  )

### 2. 教育現場での問題認識(主要な1科目について回答願います)

(1)、(2)について、それぞれ該当する番号を**2つ以内**選び、塗りつぶして下さい。

#### (1) 学生の学修に関する問題

- ① 学修に必要な基礎学力が不足している ③ 授業には参加するが、自分から学び考える積極性が見られない
- ② 授業の事前準備や事後の展開などに取り組む意欲が不足している ④ 将来設計やキャリア形成を考えて学修に取り組んでいない
- ⑤ その他(  )

#### (2) 教員から見た問題

- ① 学生に授業の事前準備や事後の展開をきめ細かく指導する時間がとれない ④ 学士力の到達目標と授業科目の関連が明確になっていない
- ② 基礎学力に格差があり、計画通りの授業運営が難しい ⑤ 教育改善のために教員同士が連携・協力する仕組みができていない
- ③ 学修支援に組織的な取り組みが弱い、教員の対応には限界がある ⑥ 主体的に問題を発見し、解を見いだしていく能動的学修や双方向型授業の経験が無い
- ⑦ その他(  )

### 3. 能動的な学修を実現するために教員が取り組むべき対策(主要な1科目について回答願います)

教員が取り組むべき対策について重要と思われる番号を**3つ以内**選び、塗りつぶして下さい。

- ① 学生の主体性を促す課題探求型授業、学生参加型授業、双方向型授業、フィールドワーク・実習などによる授業運営を積極化する
- ② 学修ポートフォリオなどを活用して、学生の学修時間や学修内容を把握し、授業改善を図る
- ③ 教員連携によるチームティーチングを導入し、教育の質の向上を図る
- ④ ティーチング・アシスタントなどを積極的に活用し、きめ細かな授業運営に取り組む
- ⑤ 幅広い学びを提供するために産業界、地域社会と連携した学修を積極化する
- ⑥ 学修成果の評価基準を客観化し、成果の可視化を図る
- ⑦ その他(  )

### 4. 教育の質的転換を図るための教学マネジメントの対策(主要な1科目に限定せずに回答願います)

所属大学として取り組むべき「教学マネジメントの対策」について重要と思われる番号を**3つ以内**選び、塗りつぶして下さい。

- ① 学士力を実現するカリキュラム、教育プログラムなどを分かり易く体系化・システム化・可視化する仕組みの構築
- ② シラバスに学修内容、授業の事前準備や事後の展開などを明確化 ⑤ ティーチング・アシスタントなどの教育サポートスタッフを充実・強化する制度の整備
- ③ 教員間で組織的に教育改善に取り組む仕組みの構築 ⑥ 学修時間や学修内容・成果を観察し、教育を点検・評価する専門組織の構築
- ④ 教養科目と専門科目の融合など、授業科目の再編に向けた教学ガバナンスの強化 ⑦ 産業界、地域社会との連携・協力を支援する専門組織の構築
- ⑧ その他(  )

\* 教学マネジメント：学位授与方針の下、質的転換に向けた体系的な教育課程を編成し、その実現に向けて学修行動の把握、学修成果の可視化、教育活動の評価、教育課程・方法などの改革サイクルに取り組むこと

### 5. 教員の教育力向上の課題(主要な1科目に限定せずに回答願います)

所属大学として取り組むべき「教員の教育力向上の課題」について、重要と思われる番号を**2つ以内**選び、塗りつぶして下さい。

- ① 教育内容・方法の改善を支援する組織の構築
- ② 学位授与方針と授業内容、カリキュラムポリシーの整合性を定期的に確認・点検するFDの充実
- ③ 課題探求型授業、学生参加型授業、双方向型授業を実施するためのFDの充実
- ④ 事前準備、事後の展開に積極的に取り組ませる動機づけを研究するFDの充実
- ⑤ 学修ポートフォリオなどを用いて学修達成度を観察し、授業の点検・改善を図るFDの充実
- ⑥ その他(  )

\* 情報通信技術（ICT）を授業に活用されていない先生は、9. 回答者プロフィールにお進み下さい。

6. 授業改善のための情報通信技術（ICT）の活用状況

現在の情報通信技術（ICT）の活用状況と3年先の計画について、該当する欄の〔○〕を塗りつぶして下さい。

| 活用目的                 | 授業改善のための情報通信技術（ICT）の活用方法・内容                                 | 現在 | 計画<br>3年先 |
|----------------------|-------------------------------------------------------------|----|-----------|
| 学修内容の可視化             | 1 ネット上のシラバスに授業の事前準備や事後の展開に必要な学修情報を掲載し、授業の進め方を明確化する          | ○  | ○         |
|                      | 2 ネット上に事前準備や事後の展開のための課題、教材、小テストなどを掲載し、学修の実態を把握する            | ○  | ○         |
| 事前・事後の学修             | 3 ネット上に教員やティーチング・アシスタントなどのサポートスタッフが指導する仕組みを構築し、学修を助言・支援する   | ○  | ○         |
|                      | 4 世界の大学などから配信されている大規模公開オンライン講座（MOOCなど）を利用する                 | ○  | ○         |
| 授業方法の改善              | 5 電子掲示板などを用いたグループ学修で意見発表、相互評価を行う                            | ○  | ○         |
|                      | 6 授業内容が社会でどのような場面で活用されているのか、社会人からネットを通じて説明を受けるなど、学修の動機づけを図る | ○  | ○         |
|                      | 7 授業中にクリッカー、スマートフォン、パソコンなどを用いて理解度を把握しながら授業を運営する             | ○  | ○         |
| 大学間・産業界・<br>地域社会との連携 | 8 大学間や教員間でネット上で連携授業を行い、多面的な学修を行う                            | ○  | ○         |
|                      | 9 産業界、地域社会とネット上で連携して課題探求型の実践的な学修を行い、助言・評価を受ける               | ○  | ○         |
| 学修成果の点検              | 10 eポートフォリオに学修成果を記録させ、学修過程を観察し、到達度を確認する                     | ○  | ○         |
|                      | 11 学修成果の発表をネット上で行い、意見交換、相互評価、講評を行う                          | ○  | ○         |
| 授業評価                 | 12 授業評価をネット上で行い、分析し、授業改善に結びつける                              | ○  | ○         |
|                      | 13 授業評価の結果を踏まえて改善を図り、その内容をネット上でフィードバックする                    | ○  | ○         |
| F D活動                | 14 大学教員、社会人とネット上で授業改善への取り組みについて意見交流を行う                      | ○  | ○         |
| その他                  |                                                             | ○  | ○         |

7. 情報通信技術（ICT）を活用してさらなる教育効果を高めるための改善策について、重要と思われる番号を2つ以内選び、塗りつぶして下さい。

- ① ICTだけに頼らず板書や対話を含む授業運営を工夫する
- ② 理解度確認テストなどを通じて対面及びネット上で理解度の確認を頻繁に行う
- ③ 将来設計やキャリア形成を考えさせるために社会人から授業の重要性をネットを通じて紹介する
- ④ eラーニングによる事前学修に加え、教室で対面による問題演習を行う
- ⑤ ネット上で学修成果を発表し、他大学や社会から助言・評価を受ける
- ⑥ その他（）

8. 担当科目の中で情報通信技術（ICT）を活用して顕著な効果をあげている事例があれば、授業科目名、内容、方法、効果の概要を下欄に記述して下さい。また、3年先に顕著な効果が期待できる計画がある場合も同様に概要を記述下さい。

|                         |                                                                  |
|-------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 現在の授業で顕著な効果を<br>上げている事例 | なお、Webサイトに教材、授業現場等の関連情報があればURLを記載して下さい。URL（http:// <div></div> ） |
| 将来の授業で顕著な効果を<br>期待できる計画 |                                                                  |

9. 回答者プロフィール

※回答いただいた個人情報は、回答内容に関する問い合わせなど本協会の事業に限定して使用し、統計情報には含めません。

職位

① 教授    ② 准教授（助教授）    ③ 講師    ④ 助教

|        |  |        |                     |
|--------|--|--------|---------------------|
| 氏名     |  | 大学名    |                     |
| 学部・研究科 |  | 学科・専攻名 |                     |
| 電話番号   |  | FAX    |                     |
| e-mail |  | URL    | http:// <div></div> |

学系コードは以下のコード表から選択して記入下さい。

| 学系コード表 |                                                  |        |                                         |  |
|--------|--------------------------------------------------|--------|-----------------------------------------|--|
| 人文科学系  | 11 文学   12 外国語学   13 史学   14 地理学   15 哲学         | 情報科学系  | 51 情報科学   52 情報工学   53 情報システム学   54 その他 |  |
|        | 16 心理学   17 文化関係学   18 人間関係学   19 言語学            |        | 61 農学   62 農芸化学   63 農業工学   64 農業経済学    |  |
|        | 1A 宗教学   1B その他                                  | 農 学 系  | 65 林学   66 林産学   67 獣医・畜産学   68 水産学     |  |
| 社会科学系  | 21 法学   22 政治学   23 商学   24 経済学                  |        | 69 その他                                  |  |
|        | 25 経営学・経営情報学   26 会計学   27 社会学                   | 保 健 系  | 71 医学   72 歯学   73 薬学   74 看護学   75 その他 |  |
|        | 28 社会福祉学   29 政策関係学   2A 環境情報学                   | 生活・家政系 | 81 生活・家政学   82 栄養・食物学   83 被服学   84 住居学 |  |
|        | 2B 国際関係学   2C コミュニケーション関係学   2D その他              |        | 85 児童学   86 その他                         |  |
| 理 学 系  | 31 数学   32 物理学   33 化学   34 生物学   35 地学   36 その他 | 教 育 系  | 91 教育学   92 体育学   93 その他                |  |
| 工 学 系  | 41 機械工学   42 電気通信工学   43 土木工学   44 建築工学          | 芸 術 系  | A1 美術   A2 デザイン   A3 音楽   A4 その他        |  |
|        | 45 応用化学   46 応用理学   47 原子力工学   48 鉱山学            |        | B1 教養学   B2 教養課程（文科）   B3 教養課程（理科）      |  |
|        | 49 金属工学   4A 繊維工学   4B 船舶工学   4C 航空工学            | 教 養 系  | B4 教養課程（その他）   B5 統計学                   |  |
|        | 4D 経営工学   4E 工芸学   4F その他                        |        | B6 その他                                  |  |

「ご協力有難うございました。」